人材開発支援助成金のご案内

人材開発支援助成金

制度の概要

人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を国が助成してくれる制度です。

1人あたり受講費用の **45%** ＋ 賃金助成 **800円/1時間**（事業主団体等の場合は賃金助成なし）

対象 セミナー受講が10時間以上
※トータル時間ではなく実際の実訓練時間が対象です。

受講の6か月前から1か月前までの間に訓練計画等の提出が必要です！

※申請予定の方はお早めにお申し込みください。

詳しい受給条件や手順、制度の最新の情報はこちらをご確認ください→

参加要領

■ 受講対象： **経営者・経営幹部・幹部候補**
（経営理念を確立されていない方でもご参加いただけます）
※ コンサルティング業関連・セミナー教育業関連等、同業の方の参加はご遠慮ください。

■ 受講スタイル：【ハイブリッド開催】
リアル（東京研修センター）またはオンライン
※毎講、受講スタイルを選択いただけます。

■ 受講料：（税込）

	法人会員	一般
1名	275,000円	308,000円
複数参加	250,800円/名	

※お申し込み受付後、お支払いが必要な場合、請求書をお送りいたします。
※法人会員のフレックスコースのご利用または TT 特典の振替（1枠につき1名）が可能です。
※「複数参加」割引は、同一日程のご参加に限ります。同一日程であれば、受講方法（オンライン・会場参加）は問いません。
※恐れ入りますが振込手数料はご負担願います。
※受講者ご本人様の都合により受講を中断された場合、受講料の返金はいたしかねます。

セミナーの当日のご案内、回答やお手続き、関係する資料の受け渡し等は、「日創研マイページ」で行います。

※初回のみアカウント登録が必要です。
アカウント登録には個人のメールアドレスが必要です。
一つのメールアドレスで複数のマイページ登録を行うことができませんので、あらかじめご了承ください。
（例：「infoなどの代表アドレス」「店舗のアドレス」など）

※日創研ホームページから、ご利用ガイドがご覧いただけます。

※ 講師は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※ セミナー中の撮影・録音は、お断りさせていただきます。
※ 駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。
※ 暴力団関係者（準構成員等も含む）・暴力団関係企業・団体、その他反社会的勢力に属する方の参加はご遠慮ください。
※ 申込数が一定数に達しない場合や自然災害などにより、開催方法の変更、延期・中止を行う場合がございます。あらかじめご了承ください。

会場・お問い合わせ先

東京研修センター
〒136-0076　東京都江東区南砂2-2-7
TEL（03）5632−3030
FAX（03）5632−3051
MAP

■ 大阪研修センター　TEL（06）6388−7741　FAX（06）6388−7739

■ 福岡研修センター　TEL（092）475−1466　FAX（092）482−8392

■ 名古屋研修センター　TEL（052）483−0471　FAX（052）483−0500

■ 札幌研修センター　TEL（011）729−2141　FAX（011）729−2145

■ 広島営業所　TEL（082）502−6281　FAX（082）502−6282

お申し込み方法

日創研ホームページからお申し込みください

経営理念塾　検索

https://www.nisouken.co.jp/

「個人情報のお取り扱いについて」～下記の内容に同意の上、お申し込みください～
○本セミナーにお申し込みの際に、お客様よりいただきました個人情報は、日創研グループ（（株）日本創造教育研究所・（株）コスモ教育出版・（株）CODコンサルタント・（株）企業研修）のサービス内容のご案内に利用させていただくことがあります。
○お客様からいただきました個人情報に関して、修正、利用停止、削除などの必要が生じた場合、ご本人様から直接ご連絡いただくことにより、適宜、ご要望に沿った対応をさせていただきます。
○日創研グループは、ご案内の発送業務において契約している委託業者に、当グループが保有する個人情報を開示することがあります。これらの契約業者とは機密保持契約を締結しており、当該業務以外の目的で情報を使用することを禁じています。

2026年版

選べる受講スタイル
ハイブリッド開催
リアル
オンライン

今こそ理念に戻れ!!
機能的な価値体系づくりを急ごう!!

経営理念塾

企業成功の要諦は
経営理念の確立にある

経営理念がない

無意識に働いている ▶ **理**に反した経営

時間の経過と共に
- 企業経営の**致命的な問題**
- 企業の**不祥事**
- 企業の**衰退**が**表面化**する

表面化する前に気づくことが大事!

経営理念が浸透している

理とは「成功の原理原則」

経営に**理**が働き、
全員が**理**に適った仕事をする
念いが**正しい形**となって**顕在化**する
・共感　・支援

『宇宙根源の法則』企業は必ず永続する

講師 田舞 徳太郎 日創研グループ 代表

経営理念や経営目的が不明確であれば、環境変化への対応の遅れや意思決定の間違いを生みます。企業規模の大小にかかわらず、企業成功の要諦は「経営理念の確立にある」と言っても過言ではありません。経営理念塾ではさまざまな事例を参考にして、企業の成功要因と経営理念との関連性を検証します。経営理念の確立と浸透のためにぜひご参加ください。

2026年開催日程 ハイブリッド開催 ◆12:00～18:30 ※第6講は講義と発表のため20:00終了予定（18:30以降は任意参加）

	第1講	第2講	第3講	第4講	第5講	第6講
東京研修センター オンライン	11月11日（水）	12月7日（月）	'27 1月8日（金）	2月5日（金）	3月5日（金）	4月5日（月）

※毎講、「会場受講（リアル）」または「オンライン受講」を選択いただけます。

中小企業の活性化　人と企業の成功づくり
NISSOKEN
日創研

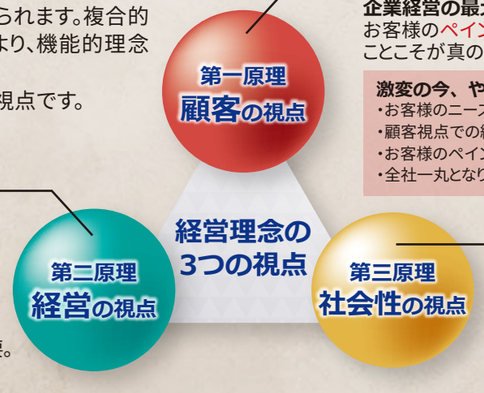
企業の成功には「社会からの要請」と「内なる志」の一致が求められる

セミナーの特長

1. 経営理念の機能を基礎から学べる
2. 経営理念の浸透のさせ方を理解できる
3. 経営理念の検証を行える
4. 創業の精神を深められる
5. 全社を巻き込んで取り組める

効果性の高い経営理念とは

経営理念は、機能的であり、生み出す価値が明確になっていることが求められます。複合的に組み合わさる相乗効果により、機能的理念の価値体系となります。
そのために重要なのが3つの視点です。



第一原理　顧客の視点

企業経営の最大の使命
お客様のペインポイント(痛み・恐れ・不安)を解決・解消することこそが真の経営。

激変の今、やるべきこと
- お客様のニーズの変化に敏感になること
- 顧客視点での経営理念が強く求められている自覚を持つこと
- お客様のペインポイント(痛み・恐れ・不安)に敏感な社風にすること
- 全社一丸となり、お困りごと解決の多様化に対応すること

第二原理　経営の視点

企業はお客様のためにも永続しなければならない。

絶えずイノベーションが行われる企業であるために、
新技術・新商品・新サービスに向ける独自の経営の視点が必要。

第三原理　社会性の視点

順調に行っている時ほど原理原則や経営の基本に戻らなければ、ぶれた方法に流される。

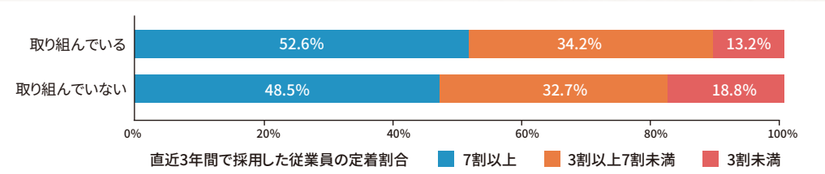
道理に通じるためには人欲のコントロールが必要となり、経営理念が大きな役割を果たす。

経営理念・ビジョン浸透の効果

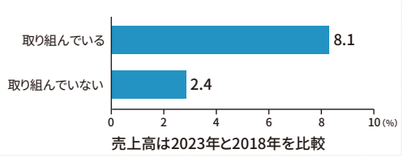
従業員に対して経営理念・ビジョンや経営情報を共有することは、
主体性の醸成につながり、ひいては業績の向上や人材の定着につながります。
売上高や付加価値額（付加価値額＝営業利益＋人件費＋賃借料＋租税公課）といった収益性の改善につながることも確認されました。

― 経営理念・ビジョン共有への取り組み状況別 各種結果 ―

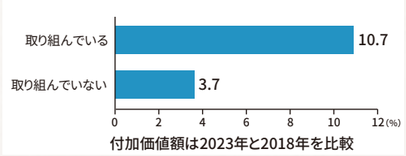
■従業員の定着状況



■売上高の変化率



■付加価値額の変化率
（付加価値額＝営業利益＋人件費＋賃借料＋租税公課）



参照：2025年版中小企業白書より

カリキュラム

第1講　なぜ、経営理念が必要か

① 経営機能を統合させる経営理念の深耕
② 経営理念の3つの視点
③ 思考の三原則
④ 理念的モチベーション
⑤ 経営理念の重要性と役割
⑥ 事業成功の条件
⑦ 経営理念の3つの条件

第2講　理念とは理に適(かな)った念(おも)いでなければならない

① 正しい経営理念とは
人生観、事業観、企業観、経営観、創業の精神
② 経営理念とは何か
③ 経営理念の機能
④ 価値前提による意思決定
J社の危機
⑤ 事例研究

第3講　経営理念は真実を語ることから始まる

① 企業を成功発展させる6つの条件
② ステートメント（声明文）
③ 価値体系の理解
④ 従来の社是・社訓の特徴
⑤ 経営理念が浸透しない理由
⑥ 経営理念の作成方法

第4講　経営とは形のない精神活動から始まっている

① 経営理念に求められる3つの視点
② 経営理念の影響
③ 経営理念と事業領域の明確化
④ 事業領域の定義
⑤ なぜ事業領域を確定し公表するのか
⑥ 事例研究
I社の経営理念とビジネス・コンダクト・ガイドライン

第5講　現場が企業の真実の姿

① 事業ドメインと戦略ドメインの必要不可欠性
② 経営理念作成の三面等価論
③ 経営理念は現場に息づいているか
④ 事例研究
⑤ 経営者の責任
⑥ 経営理念のチェック

第6講　経営理念の発表と検証

① 経営理念をピラミッド型にして検証する
② 社長のミッションステートメント
③ 経営理念の機能
④ 事業成功の条件
⑤ 経営理念の3つの条件
⑥ 理念発表と検証
⑦ 経営理念の浸透方法

受講生の声

株式会社トゥルース　代表取締役　天野 雅晴 様　美容業（千葉県）

セミナーに参加されたきっかけをお聞かせください
以前に2回、経営理念塾を受講し理念体系はできていました。それから15年経ち、グループの従業員数も増えたので、もう一度理念を再構築したいと思い、今回は3名で受講しました。

セミナーの中で得た気づきや学びを教えてください
やはり『創業の精神』が大切であり、そこから理念体系がつながっていくことを改めて学びました。

ご自身や会社にどのような変化がありましたか
理念に対する意識が更に上がりました。意思決定する上でいかに理念が大切であるかに気づくことができました。もう一度、理念体系を作り直します。

株式会社赤垣屋　代表取締役　円間 恵美 様　飲食業（大阪府）

セミナーに参加されたきっかけをお聞かせください
先代が事業コンセプトを築いてから30年近くが経ち、今のお客様の社会背景・ニーズとズレを感じるようになりました。また私自身の事業への想いも新たに芽生え、理念体系の整理が必要だと感じ受講しました。

セミナーの中で得た気づきや学びを教えてください
講師から「先代の創った創業の精神を土台に、私の納得いくように見直してもよい」とアドバイスいただきました。
『今までの歴史+自分の想い』を重ねて新たにやって行く覚悟ができました。

ご自身や会社にどのような変化がありましたか
理念体系はガイドブックというだけでなく、お客様の笑顔を作る事業設計の基になると知り、社内の仕組みが見直しやすくなりました。これまでは、初代、先代、また今まで関わって来た方々が作ってきた会社を変えてはいけない、と思いこんできた所がありました。講師のアドバイスを通して、自分の考えでやって行きなさい、と背中を押していただいたと感じています。私の創業の精神も加え、新たに進んで参ります。ありがとうございます！